

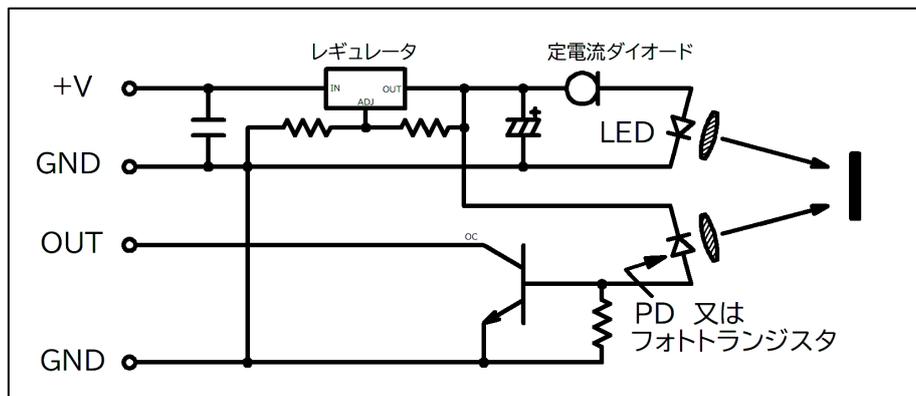
汎用光電センサ回路例

デクセリアルズ 株式会社

光電センサは投光部と受光部から構成され、物体検出などに使用されます。一般的な光電センサでは、投光部はLED、受光部はPDを使用します。

「光電センサ用基本回路」

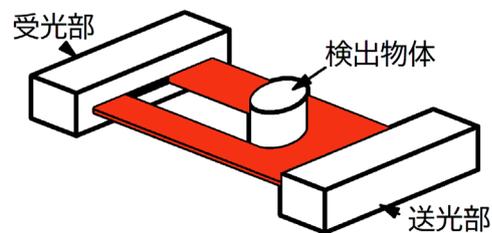
反射型光電センサを例にあげるとLEDドライブ回路とPD信号変換回路から構成されます。



(解説) 本回路では定電流ダイオードでLEDを点灯照射し、物体反射光をPDで検出した場合にOUT信号が出力される基本回路となります。

光電センサは反射型以外にも透過型や位置検出型など自動機などを代表とする位置や物体検出に様々利用されています。

右図のような複数のLEDやPDを利用した物体検出は位置情報の取得も可能となります。



Dexerials

デクセリアルズ 株式会社

〒323-0194

栃木県下野市下坪山 1724

<https://www.dexerials.jp/>

本紙に記載されている会社名および製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

©2024 Dexerials Corporation

記載内容: 2021年6月現在